

# 第3章 実動訓練(陸上部隊) の実施結果

## 第1 本部運営訓練

### 1 主眼

複数の都県大隊が同一の被災地内で連携した活動を実施する場合を想定し、消防応援活動調整本部（以下「調整本部」という。）、指揮本部及び指揮支援本部の指揮・調整能力の向上を図る。

### 2 消防応援活動調整本部運営訓練

#### (1) 日時

令和6年11月13日（水）午前11時00分から午後6時00分まで

令和6年11月14日（木）午前7時30分から午前10時40分まで

#### (2) 場所

天城ふるさと広場

(注) 本来、調整本部は静岡県庁に設置するが、本訓練においては訓練進行の都合上、天城ふるさと広場（メイン会場）の体育館（多目的ホール）を静岡県庁と見立てて調整本部を設置

#### (3) 参加者

ア 静岡県危機管理部

イ 統括指揮支援隊（横浜市消防局）

本訓練における指揮支援部隊長は「緊急消防援助隊の応援等の要請等に関する要綱」に基づき、統括指揮支援隊を指定順位第1位に指定されている横浜市消防局とした。

#### (4) 訓練内容

ア 被害状況等の情報を収集し、各指揮本部及び指揮支援本部と共有を図り、訓練終了までの間、部隊の指揮、調整を行った。

イ 「緊急消防援助隊の運用に関する要綱」（以下「運用要綱」という。）及び平成30年6月19日付け消防広第225号、消防情第181号「緊急消防援助隊出動時における通信連絡体制の確保について」（以下「通信連絡体制の確保」という。）を基に、統制波、主運用波等の使用に関し、必要な統制等を行った。

ウ 都県大隊等からドローンの運航計画（飛行時間、飛行経路）を聴取し、県航空運用調整班及び航空指揮本部との連絡を密にし、他の航空機との時間的、空間的分離を確保した。

エ 下田エリアの病院機能喪失による大規模転院搬送に対応するため、伊豆エリアの複数の都県大隊から救急隊を分割し、救急特別編成部隊を編成した。

オ 下田エリアへつながる主要道路が寸断したため、ヘリコプターを使用した人員輸送を検討し、参集中の統合機動部隊から、対応可能な部隊の調整を行った。

(5) 実施状況

消防応援活動調整本部



統括指揮支援隊



### 3 指揮本部、指揮支援本部運営訓練

(1) 日 時

令和6年11月13日（水）午前8時30分から午後6時00分まで

令和6年11月14日（木）午前7時30分から午前10時40分まで

(2) 場所、参加者

場 所		参加者	
		指揮本部	指揮支援隊
あまぎ 天城ふるさと広場	NBC 災害	富士山南東消防本部	静岡市消防局
	自然災害	駿東伊豆消防本部 静岡市消防局 (県内指揮支援隊)	相模原市消防局
御殿場市・おやま 行政組合消防本部		御殿場市・おやま 行政組合消防本部	名古屋市消防局
富士宮市消防本部		富士宮市消防本部	浜松市消防局

(注) 駿東伊豆消防本部は、あまぎ天城ふるさと広場の体育館（多目的ホール）を自消防本部と見立てて指揮本部を設置

富士山南東消防本部は、あまぎ天城ふるさと広場多目的グラウンド横駐車場を自消防本部と見立てて指揮本部を設置

(3) 訓練内容

ア 被害状況等の情報共有を図り、訓練終了まで実動部隊と連動した実践的な本部運営活動を行った。

イ 運用要綱及び通信連絡体制の確保を基に、統制波、主運用波等の使用に関し、必要な統制等を行った。

ウ 都県大隊等からドローンの運航計画（飛行時間、飛行経路）を聴取し、県航空運用調整班及び航空指揮本部との連絡を密にし、他の航空機との時間的、空間的分離を確保した。

エ 下田エリアの病院機能亡失による大規模転院搬送に対応するため、伊豆エリアの複数の都県大隊から救急隊を分割し、救急特別編成部隊を編成した。

(4) 実施状況

天城ふるさと広場（仮想：駿東伊豆消防本部、富士山南東消防本部）

指揮本部・指揮支援本部（仮想：駿東伊豆消防本部）



指揮本部（仮想：富士山南東消防本部）



御殿場市・<sup>おやま</sup>小山町広域行政組合消防本部、富士宮市消防本部

指揮本部（御殿場市・<sup>おやま</sup>小山町広域行政組合消防本部）



指揮支援本部（御殿場市・<sup>おやま</sup>小山町広域行政組合消防本部）



指揮本部員、指揮支援隊情報共有（富士宮市消防本部）



指揮支援隊活動状況（富士宮市消防本部）



## 第2 部隊参集・受援対応訓練

### 1 主眼

- (1) 各都県大隊等の進出ルート、給油・休憩等の計画立案
- (2) DJSを活用した部隊の参集状況、道路状況等の情報共有
- (3) 被災地消防本部における進出拠点の開設準備等、応援隊受入れ体制の強化
- (4) 陸路が途絶した状況で、空路を使用した部隊進出

### 2 日時

令和6年11月13日（水）各部隊が参集を開始してから進出拠点に到着した時刻まで

### 3 前提条件

部隊運用訓練の実施時間を確保するため、出動に係る事務手続きは省略

### 4 指揮支援部隊参集訓練

#### (1) 訓練内容

指揮支援部隊は、自隊の指揮支援実施計画等に定める方法で参集

なお、訓練を効率的に実施するため、進出拠点及び到着時刻を次のとおり指定

#### ア 統括指揮支援隊の参集

統括指揮支援隊	進出拠点 (ヘリコプター臨時離着陸場)	到着時刻	
		指定時刻	実際の時刻
横浜市消防局	あまぎ 天城ふるさと広場 野球場	10時00分まで	10時04分

#### イ 指揮支援隊の参集

##### (7) 空路で参集

指揮支援隊	進出拠点 (ヘリコプター臨時離着陸場)	到着時刻	
		指定時刻	実際の時刻
名古屋市消防局	遊RUNパーク 玉穂駐車場	9時30分まで	9時20分
浜松市消防局	富士宮市消防本部西消防署北分署	10時00分まで	10時05分

##### (4) 陸路で参集

指揮支援隊	参集場所	到着時刻	
		指定時刻	実際の時刻
相模原市消防局	あまぎ 天城ふるさと広場	11時00分まで	10時05分

(2) 実施状況

統括指揮支援隊の参集



指揮支援隊の参集



5 統合機動部隊、都県大隊、土砂・風水害機動支援部隊参集訓練

(1) 訓練内容

- ア 各部隊は、DJSを活用、運用要綱第21条及び第22条に基づき部隊規模、出動ルート等を調整本部等へ報告
- イ 各部隊は、DJS等を活用、後続する都県大隊及び被災地消防本部に進出状況、道路状況等の情報共有を行った。
- ウ 各部隊長は、進出拠点到着後、調整本部及び被災地消防本部から進出拠点に派遣された連絡員に隊名、部隊規模、資機材等について報告
- エ 訓練を効率的に実施するため、進出拠点及び到着時刻を次のとおり指定

都 県	部 隊	進出拠点	到着時刻	
			指定時刻	到着時刻
東京都	統合機動部隊	日本競輪選手養成所	13時00分まで	12時30分
	大隊		14時00分まで	13時30分
神奈川県	統合機動部隊	愛鷹広域公園	12時00分まで	12時15分
		さつきヶ丘公園	13時00分まで	12時58分
	大隊		14時00分まで	14時00分
栃木県	統合機動部隊		14時30分まで	14時15分
	大隊	15時30分まで	15時30分	
埼玉県	統合機動部隊	御殿場プレミアム・アウトレット駐車場No.20	11時30分まで	10時51分
	大隊		12時30分まで	12時15分
茨城県	統合機動部隊	御殿場プレミアム・アウトレット駐車場No.12	12時00分まで	11時40分
	大隊		13時00分まで	13時00分
群馬県	土砂・風水害機動支援部隊	御殿場プレミアム・アウトレット駐車場No.11	13時15分まで	13時05分
千葉県	統合機動部隊	日蓮正宗総本山大石寺 塔の原駐車場、東山駐車場	13時00分まで	12時30分
	大隊		14時00分まで	13時40分
山梨県	統合機動部隊	塔の原駐車場、東山駐車場	12時00分まで	11時54分
	大隊		13時00分まで	13時00分
長野県	統合機動部隊	田貫湖	13時30分まで	13時27分
	大隊		14時30分まで	15時30分

(2) 実施状況

東京都



神奈川県



栃木県



埼玉県



茨城県



群馬県



千葉県



山梨県





## 6 ヘリコプターによる部隊進出訓練

### (1) 訓練内容

国道414号等、主要道路が途絶したため、陸路により下田エリアの災害現場へ部隊を投入できない場合を想定し、ヘリコプターによる情報収集要員の進出訓練を実施

到着指定時刻	到着時刻	場 所	出発予定時刻	出発時刻
		あしたか 愛鷹広域公園	13時00分	12時28分
13時25分	12時50分	安田造船所敷地		

### (2) 実施状況



## 7 受援対応訓練

### (1) 日 時

令和6年11月13日（水）緊急消防援助隊が進出拠点及びヘリコプター臨時離着陸場に到着するまで

### (2) 場 所

#### ア 進出拠点

- (ア) 日本競輪選手養成所
- (イ) さつきヶ丘公園
- (ウ) 御殿場プレミアム・アウトレット駐車場No.11、12、20
- (エ) 日蓮正宗総本山大石寺塔の原駐車場・東山駐車場

#### イ ヘリコプター臨時離着陸場

- (ア) 天城ふるさと広場
- (イ) 遊RUNパーク玉穂駐車場
- (ウ) 富士宮市消防本部西消防署北分署

### (3) 参加者

- ア 駿東伊豆消防本部
- イ 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部
- ウ 富士宮市消防本部

### (4) 訓練内容

- ア DJSを活用し、参集中の部隊と相互に情報共有を行った。
- イ 進出拠点及びヘリコプター臨時離着陸場の開設、連絡員を派遣
- ウ 都県大隊、各部隊の受入れに関して都県大隊・各部隊受入れ管理表で確認

### (5) 実施状況

日本競輪選手養成所

情報共有（東京都）



さつきヶ丘公園

情報共有 (神奈川県)	情報共有 (栃木県)
	

御殿場プレミアム・アウトレット駐車場No.11、12、20

情報共有 (埼玉県)	情報共有 (茨城県)
	

日蓮正宗総本山大石寺塔の原駐車場・東山駐車場

情報共有 (千葉県)	情報共有 (山梨県)
	

あまぎ  
天城ふるさと広場

臨時離着陸場で航空小隊の受入れ



ゆうらん たまほ  
遊RUNパーク玉穂駐車場

臨時離着陸場で名古屋市消防局指揮支援隊受入れ



富士宮市消防本部西消防署北分署

臨時離着陸場で浜松市消防局指揮支援隊受入れ



情報共有（浜松市消防局）



### 第3 情報収集・情報伝達訓練

#### 1 主眼

- (1) 各部隊がDJS、情報収集活動用ドローン、映像伝送装置、無線を活用し災害現場の情報収集を行い、救助、消火、救急活動の指揮に活用する。
- (2) 指揮本部等は、WEB 会議システム等を活用しデジタル技術の検証を行う。

#### 2 動態情報システム（DJS）運用訓練

##### (1) 日時

令和6年11月13日（水）部隊参集・受援対応訓練の開始から  
令和6年11月14日（木）午前10時40分まで

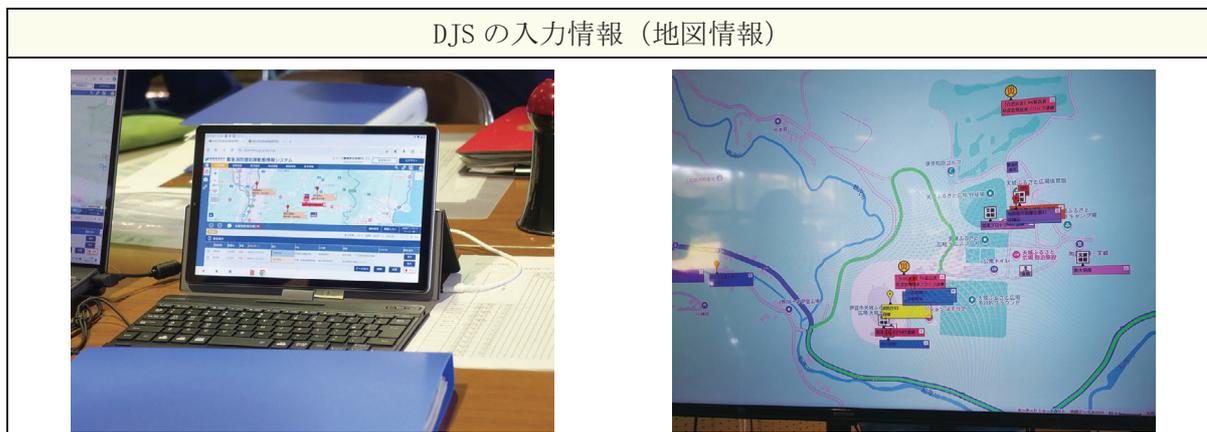
##### (2) 参加部隊

訓練に参加する全部隊、調整本部、指揮本部

##### (3) 訓練内容

- ア 調整本部は、DJSを活用して部隊進出状況、進出拠点、災害状況等を把握した。
- イ 都県大隊及び各部隊は、DJSを活用して部隊進出状況等の情報共有を行った。
- ウ 指揮本部及び指揮支援本部は、DJSを活用して進出拠点、災害状況等の情報共有を行った。
- エ 訓練実施2日間で支援情報として580個の情報が入力された。

##### (4) 実施状況





### 3 ドローン運用訓練

#### (1) 日時

令和6年11月13日（水）部隊運用訓練の開始から終了まで

令和6年11月14日（木）部隊運用訓練の開始から午前10時40分まで

#### (2) 場所

- ア 天城ふるさと広場
- イ 立岩石材興業（株）スコリア工場
- ウ 二葉建設（株）東山工場
- エ 田貫湖

#### (3) 参加部隊

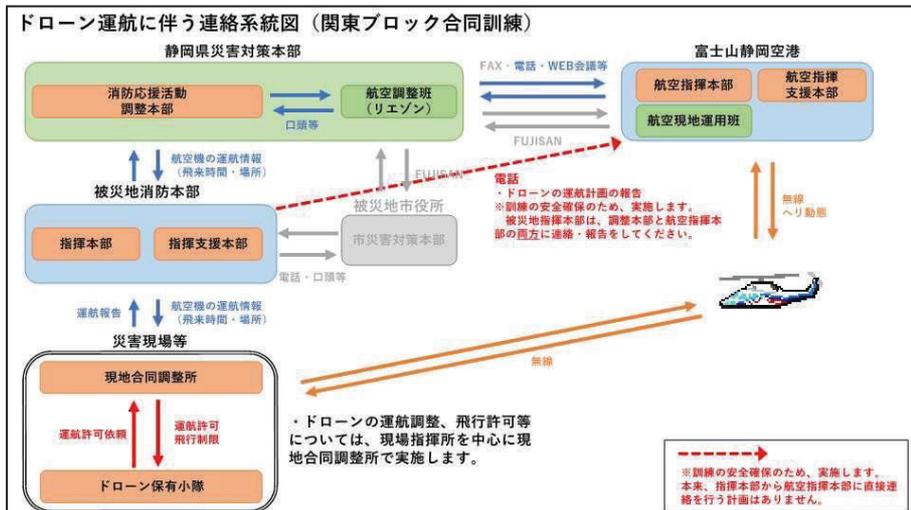
- ア 御殿場市・小山町広域行政組合消防本部
- イ 緊急消防援助隊（茨城県、栃木県、群馬県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県）
- ウ 国土交通省沼津河川国道事務所

(4) 静岡県のドローン運用指針

過去の地域ブロック合同訓練でドローンの飛行許可に時間がかかり必要な場面でドローンを飛ばすことができなかったとの課題があったことから、今回の訓練に向けてドローンを安全迅速に飛行させることを目的とした静岡県の指針を定め、参加部隊等に周知して訓練を実施した。

### 緊急消防援助隊ドローン運用指針

- ・緊急消防援助隊の各小隊が保有するドローンの運用は、基本現場(現場指揮所、現地合同調整所)で統制を行う。
- ・ドローンを運航した場合は、指揮本部、指揮支援本部へ報告する。
- ・指揮本部、指揮支援本部は、調整本部及び**航空指揮本部**へ報告する。
- ・調整本部は、県(航空調整スタッフ)と連絡を密にし、航空機が飛来する際は速やかに飛来時間、飛来場所を確認し、調整本部から指揮本部、指揮支援本部を経由し、**現場指揮者(現地合同調整所)**に情報共有を行う。
- ・情報を受けた**現場指揮者(現地合同調整所)**は、速やかにドローンを運航している小隊に対して情報共有を行い、航空機飛来時間のドローン運航について制限等を実施する。
- ・迅速に情報共有を行うため、各機関は連絡を密にする。



(5) 訓練内容

- ア ドローンを活用して訓練会場の情報収集及び安全管理を行った。
- イ 調整本部、指揮本部及び指揮支援本部は、都県大隊等からドローンの運行計画(飛行時間、飛行経路)を聴取し、県航空運用調整班及び航空指揮本部へ連絡、他の航空機との時間的・空間的分離を確保した。
- ウ 運航許可、運航報告についてどのセクションがグリップするのか課題があるが、本訓練では、ドローンを保有する小隊が積極的に運航することができた。

(6) 実施状況

ドローン運航状況表

伊豆エリア

部隊名	運航時間	運航目的
栃木県統合機動部隊 (通信支援小隊)	令和6年11月13日16時40分～16時50分	情報収集
栃木県統合機動部隊 (後方支援小隊)	令和6年11月13日16時30分～16時45分	情報収集
栃木県大隊 (通信支援小隊)	令和6年11月14日9時25分～9時35分	情報収集
	令和6年11月14日9時52分～10時02分	
栃木県大隊 (後方支援小隊)	令和6年11月14日9時00分～10時00分	情報収集 安全管理
東京都大隊	令和6年11月13日16時30分～17時00分	情報収集
	令和6年11月14日9時23分～10時00分	
神奈川県大隊	令和6年11月13日12時50分～13時55分	情報収集
	令和6年11月13日14時30分～17時00分 ※ 最初の離陸から最後の着陸までの時間	
国土交通省沼津 河川国道事務所	令和6年11月14日9時30分～9時40分	情報収集

御殿場エリア

部隊名	運航時間	運航目的
御殿場市・ <sup>おやま</sup> 小山町広域 行政組合消防本部	令和6年11月13日11時05分～11時30分	情報収集
茨城県大隊	令和6年11月13日13時24分～13時35分	情報収集
	令和6年11月14日9時01分～9時10分	要救助者検索
	令和6年11月14日10時19分～10時28分	
群馬県土砂・風水害 機動支援部隊	令和6年11月13日14時50分～15時00分	情報収集
	令和6年11月14日8時45分～8時50分	要救助者検索
	令和6年11月14日9時11分～9時20分	
	令和6年11月14日10時00分～10時10分	

富士宮エリア

部隊名	運航時間	運航目的
千葉県大隊	令和6年11月13日16時00分～16時30分	情報収集 安全管理
	令和6年11月14日9時10分～9時25分	情報収集
	令和6年11月14日10時10分～10時20分	現場状況確認
長野県大隊	令和6年11月13日15時40分～16時05分	情報収集
	令和6年11月14日8時50分～9時00分	

<p>あまぞ 天城ふるさと広場 ドローン</p> 	<p>たちいわ 立岩石材興業(株)スコリア工場 ドローン</p> 
<p>二葉建設(株) 東山工場 ドローン</p> 	<p>田貫湖 ドローン</p> 

4 映像伝送装置活用訓練

- (1) 広報通信車（無線中継車）及び可搬型衛星地球局を活用した映像伝送  
 ア 日時、場所、参加部隊等

日時	場所	参加部隊	使用資機材
令和6年11月13日（水） 13時30分～14時00分	二葉建設（株） 東山工場	茨城県 統合機動部隊	可搬型衛星地球局
令和6年11月13日（水） 15時30分～16時00分	田貫湖	長野県 統合機動部隊	可搬型衛星地球局
令和6年11月13日（水） 16時30分～17時00分	あまぎ 天城ふるさと広場	東京都大隊	無線中継車

イ 訓練内容

- (7) 通信支援小隊は、広報通信車及び可搬型衛星地球局を活用し、各訓練会場の映像を地域衛星通信ネットワークを介し、消防庁、都道府県庁及び全国の消防機関へ伝送した。
- (8) 静岡県が保有する無線中継車で映像を受信して仮想静岡県庁及び仮想駿東伊豆消防本部に映像を配信した。
- (9) 部署位置の選定及び衛星捕捉に時間を要し、映像配信時間が予定の時間より短かった。
- (10) 調整本部及び指揮本部で（一財）自治体衛星通信機構の地域衛星通信ネットワークの映像配信を確認し、被害状況の共有を行った。

ウ 実施状況



(2) モバイルエンコーダを活用した映像伝送

ア 日時、場所、参加部隊

日 時	場 所	参加部隊
令和6年11月13日(水)・14日(木) 活動部隊、指揮本部等が必要と判断した時間	天城ふるさと広場	東京都大隊
	立岩石材興業(株) スコリア工場	神奈川県統合機動部隊
	二葉建設(株) 東山工場	群馬県 土砂・風水害機動支援部隊
		埼玉県統合機動部隊
	田貫湖	長野県大隊
		千葉県統合機動部隊

イ 訓練内容

- (7) ドローン及びモバイルエンコーダを運用する部隊は、ドローン操縦機のHDMI端子にモバイルエンコーダを接続し、消防庁クラウドに対して送信しようとしたが電波状況が悪く送信できなかった。
- (8) 訓練中に視聴アカウントを付与したが、意図が伝わらず情報が錯綜してしまった。

5 消防無線統制訓練

(1) 日 時

令和6年11月13日(水) 部隊参集・受援対応訓練の開始から  
令和6年11月14日(木) 午前10時40分まで

(2) 参加部隊

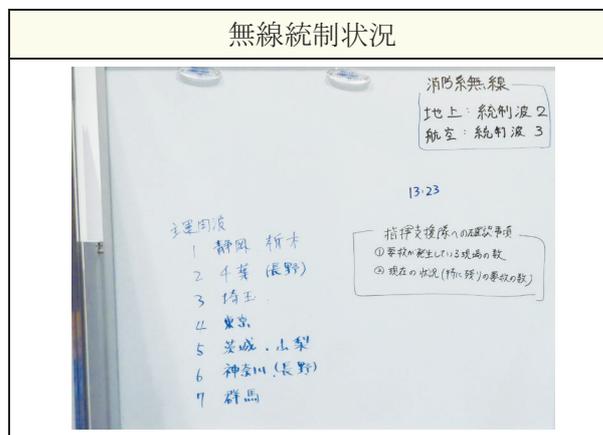
訓練に参加する全部隊、調整本部、指揮本部、指揮支援本部

(3) 訓練内容

ア 運用要綱及び通信連絡体制の確保を基に、統制波、主運用波の使用について必要な統制等を行った。

イ 署活動用無線機の使用は、平成31年4月25日付け消防広第102号、消防情第128号「緊急消防援助隊出動時における署活動用無線機の使用について(通知)」により行った。

(4) 実施状況



6 WEB 会議システム活用訓練

(1) 日時、場所、参加者

日時	ホスト	ゲスト
令和6年11月13日（水） 20時00分～20時30分	場 所：駿東伊豆消防本部 田方南消防署 参加者：指揮本部員	場 所：駿東伊豆消防本部田方南消防署 参加者：相模原市消防局指揮支援隊長
		場 所：日本競輪選手養成所 参加者：東京都大隊長
		場 所：さつきヶ丘公園 参加者：神奈川県大隊長
		場 所：さつきヶ丘公園 参加者：栃木県大隊長
令和6年11月13日（水） 18時30分～19時30分	場 所：御殿場市・小山町広 域行政組合消防本部 参加者：指揮本部員	場 所：御殿場市・小山町広域行政組合 消防本部御殿場消防署 参加者：名古屋市消防局指揮支援隊長
		場 所：御殿場プレミアム・アウトレッ ト駐車場No.11 参加者：群馬県土砂・風水害機動支援部 隊長
		場 所：御殿場プレミアム・アウトレッ ト駐車場No.12 参加者：茨城県大隊長
		場 所：御殿場プレミアム・アウトレッ ト駐車場No.20 参加者：埼玉県大隊長
令和6年11月13日（水） 18時50分～19時40分	場 所：富士宮市消防本部 参加者：指揮本部員	場 所：富士宮市消防本部 参加者：浜松市消防局指揮支援隊長
		場 所：日蓮正宗総本山大石寺東山駐車 場C（千葉県拠点機能形成車内） 参加者：千葉県大隊長 山梨県大隊長 長野県大隊長

(2) 訓練内容

- ア 指揮本部は、1日目の訓練終了後、WEB 会議システムを活用し、宿营地等に移動した指揮支援隊及び各都県大隊長と活動調整会議の決定事項や翌日の活動方針等の共有を図った。
- イ 通信状況が悪く、音声の途切れ、画像の共有ができない不具合があり、活動報告、活動方針の伝達が円滑にできなかった。
- ウ WEB 会議が円滑に進行できなかったため、1箇所に集結し会議を実施したり電話で情報共有を実施し、柔軟に対応した。

伊豆エリア

ホスト	ゲスト
 A group of five people in blue and orange uniforms are seated around a long table in a meeting room. They are looking at laptops and a monitor displaying a video conference.	 A group of people in blue uniforms are in a large hall with a red floor. They are gathered around a table, and one person is standing near a chair.

御殿場エリア

ホスト	ゲスト
 A group of people in blue and orange uniforms are seated around a table in a meeting room. They are looking at laptops and a monitor displaying a video conference. A whiteboard is visible in the background.	 A group of people in blue and orange uniforms are seated around a table in a meeting room. They are looking at laptops and a monitor displaying a video conference.

富士宮エリア

ホスト	ゲスト
 A group of people in blue and orange uniforms are seated around a table in a meeting room. They are looking at laptops and a monitor displaying a video conference. A whiteboard is visible in the background.	 A group of people in blue and orange uniforms are seated around a table in a meeting room. They are looking at laptops and a monitor displaying a video conference.